

令和2年度 在宅医療・介護連携の 推進について

枚方市医師会委託分を中心に



令和3年3月

枚方市 健康福祉部 地域健康福祉室
健康福祉総合相談担当

(事業の経過)

在宅医療と介護の連携推進については、これまでの医政局施策である在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療連携推進事業（平成25年度～）の成果を踏まえ、介護保険制度改正において、介護保険法の中で恒久的な制度として位置づけられた。実施可能な市区町村は平成27年から取り組みを開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施することとなった。

国が示す「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の（ア）から（ク）の全ての事業を実施する。

枚方市では、平成30年度から枚方市医師会に事業を委託し、市と共同で実施している。

なお、平成20年度より医療と介護関係団体による課題検討の場として「実務者推進連絡協議会」を開催しており、平成27年度より市全域の地域ケア会議に位置付けて実施【（ア）から（エ）】している。

本事業に係る打ち合わせ会議（令和2年度）

○開催頻度 おおむね月1回実施 全11回

4/16・5/19・6/16・7/21・8/18・9/15・10/20・11/17・12/15・1/19・2/16

※4月～6月、12月～2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メンバーを枚方市医師会・当課のみとし、縮小して開催

○メンバー

枚方市医師会、在宅医療連携・在宅支援コーディネーター、保健所保健医療課、保健予防課、健康増進・介護予防担当、健康福祉総合相談担当

○内容

本事業の企画・実施等に関する検討・協議、情報共有等

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

内容等	時期等	備考
かかりつけ医マップの作成 (市民向け)	9月	2,000部 配布先：市民、医師会、地域包括支援センター、市（保健所・地域健康福祉室担当課、健康福祉総合相談担当）

(イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(1) 医師会との打ち合わせ会議 本事業の企画・実施等に関する検討協議、情報共有等	月1回程度開催 (計11回) ※コロナ禍のため、医師会と当課にて協議を図ったものを含む	メンバー 医師会：会長、副会長、事務長、コーディネーター、市、必要時地域包括支援センター職員
(2) コーディネータの在宅医療・介護連携推進に関する会議等への参画	令和2年4月～令和2年3月	概ね13回 多職種連携研究会、訪問看護ステーション連絡会

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援【重点施策】

- (1) 在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置
- (2) 周知用チラシの作成配布
- (3) 在宅医療・介護連携支援電話相談窓口について、市ホームページ・枚方市介護支援専門員連絡協議会ホームページに掲載

- 1) 令和2年4月～令和3年3月 週3回 (月・水・金曜日) 13時～16時
- 2) 令和元年8～10月

- 1) 相談件数
しょうとくまちかどステーションにて実施
- 2) 配布先：医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員連絡協議会、介護事業所研究会、地域包括支援センター、市(保健所・地域健康福祉室担当課、健康福祉総合相談担当)

在宅医療に関すること
ご相談ください

枚方市在宅医療・介護連携電話相談窓口は、医師・介護・福祉従事者の立ち守りのための相談窓口です。

在宅医療・介護連携を安心・元気に受けたい方は、ご相談ください！

今までにいたご相談として

相談者	相談内容	対応
介護支援専門員	難病患者、かかりつけ医を教えてください。	医師のみなさんからの回答を紹介。保健連携ステーションに依頼等。
介護支援専門員	病院主治医より、かかりつけ医を持つようには断念した。お医者さまはほとんど通っていない様子。どう進めようか悩んでいます。	病院主治医とかかりつけ医の役割を説明。家への訪問診療、訪問看護の依頼や遠隔診療ステーションから依頼する方法を提案。
介護支援専門員	ここ最近、利用者や家族への連絡が難しくなっている。介護保険認定申請のために往診してくれる医師を探しているが、どうすればいいか。	往診可能な医師はあるが、介護保険認定申請のみを目的とした利用方法は難しいと考える。まずは、近隣の医師に相談を。
介護支援専門員	要介護認定を受けている患者。認知症進行のため、自分で医療処置ができなくなってきた。医療保険での訪問看護利用は可能か。	調査。介護保険サービスを利用中であり、要介護認定制度のサービス利用はできない。ただし、医療の特別処置がなされたら、日医等の条件はありますが訪問看護利用は可能。

皆さまの**困った...**を解決したい

お気軽にご来局ください！
電話：072-852-5515
ファックス：072-852-5502
開設日：月・水・金 午後1時～4時

事業に関するお問い合わせ先
一般社団法人 枚方市医師会：072-846-0252
枚方市 地域健康福祉室 健康福祉総合相談担当：072-841-1401

令和元年度の取り組みとして、在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置に関する調査を実施

目的：周知状況把握・ニーズ調査

対象：市内の介護支援専門員事業所、ヘルパー事業所、訪問看護事業所計541か所にアンケートを送付・集計

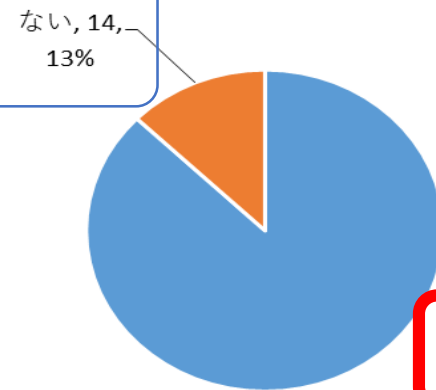
在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置に関するアンケート結果 必要な情報について・情報の不足について

★電話相談窓口の役割として 求められること

- ①医療・介護資源集：往診情報
- ②かかりつけ医マップ：医療機関の診療時間・科目等の情報

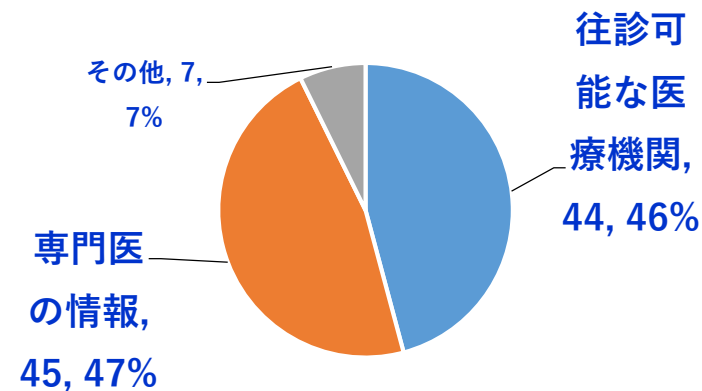
→ 「地域情報とあわせた最新の診療・往診可能な医療機関の情報」

必要な情報が不足しているか
(全体)



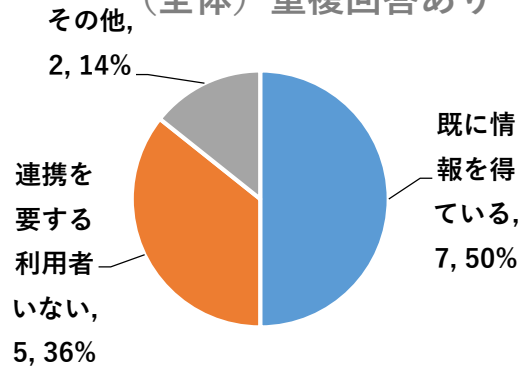
必要な情報が不足している

(全体) 重複回答あり



必要な情報が不足していない

(全体) 重複回答あり



在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置に関するアンケート結果 必要な情報について・情報の不足について

自由記載 内容

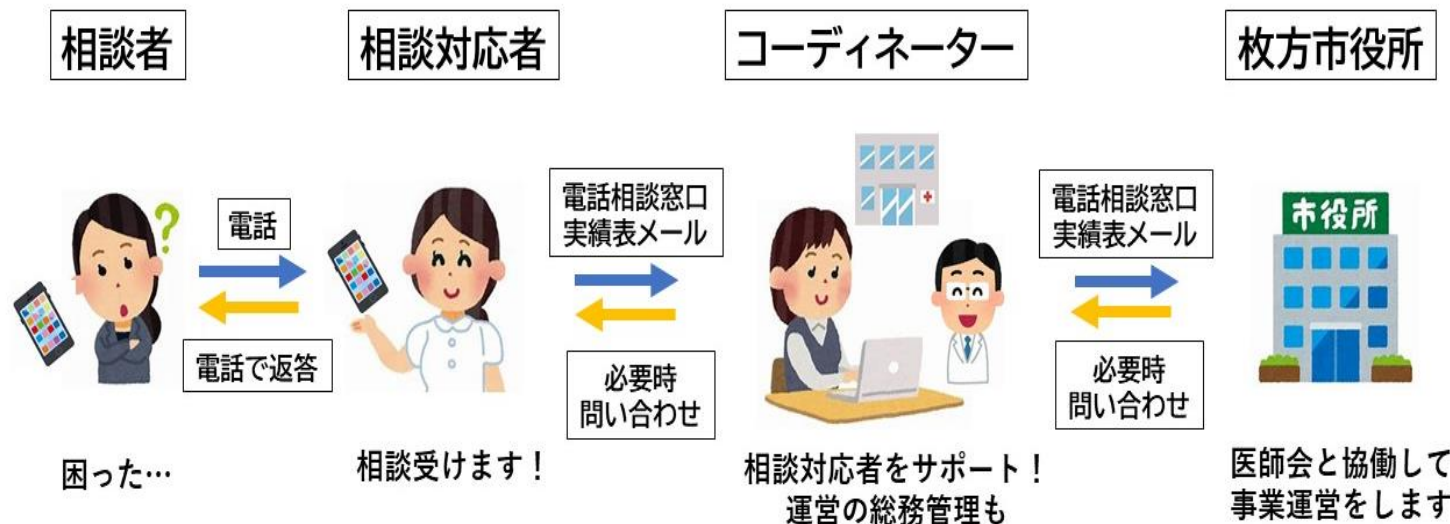
- ・ 往診の情報：具体的に何科の往診をしているのか、対応エリア（範囲）、夜間対応の有無実際に往診可能か
- ・ 総合医療についての情報
- ・ 往診可能か・在宅診療と往診の違い
- ・ どのように相談していいかわからない
- ・ 介護が必要な利用者の情報
- ・ 重度心身障害の方のショートステイ受入れ先

青字：電話相談窓口に求められる内容、機能
「地域情報とあわせた最新の診療・往診可能な医療機関の情報」

令和3年度にむけて【重点施策】在宅医療・介護連携相談支援

課題 電話相談窓口の役割として、「地域情報とあわせた最新の診療・往診可能な医療機関の情報」が求められており、発信が必要

令和3年度～在宅医療・介護連携電話相談窓口【拡充】



地域ケア推進実務者の皆さまにおかれましても、周知・啓発にご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます

- 身近な圏域内で連携強化・継続に展開できるように市内訪問看護ステーション管理者が相談対応を担う体制へ変更
- 在宅医療・介護連携支援コーディネーター・バックアップ医師のフォロー体制構築

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

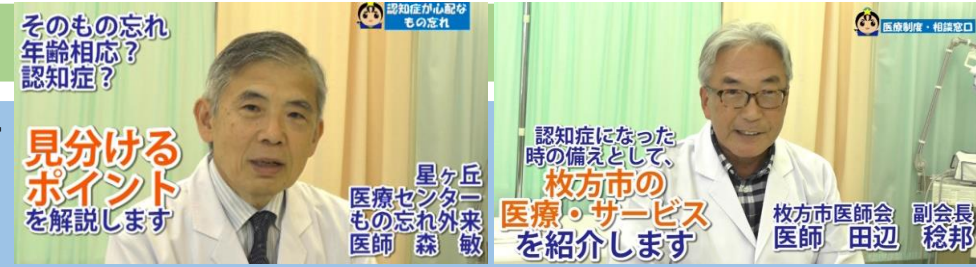
↓再生回数2.9万回超え

(キ) 地域住民への啓発

認知症早期発見・早期治療に向けた啓発 【重点施策】

時期等

備考



認知症に関する動画・DVD・動画解説資料作成、周知啓発

10月

・枚方市公式ユーチューブチャンネルにアップ

・当課ホームページに動画・解説資料掲載

・枚方市ツイッター・フェイスブックにて周知
・SOSキーホルダー配布時等、窓口にて周知チラシを配付、動画紹介

・DVDを作成、認知症サポーター養成講座、各地域包括支援センターの出前講座等で活用
※地域住民向け啓発目的だが、多職種連携研究会時視聴する等、専門職の理解促進にも活用

動画内容

①認知症が心配なもの忘れ (12分33秒)

星ヶ丘医療センター 森 敏 医師

②もの忘れ外来について (13分00秒)

星ヶ丘医療センター 森 敏 医師

③認知症を支える枚方市の医療制度や相談窓口

(4分35秒)

枚方市医師会 副会長 田辺 稔邦 医師



地域ケア推進実務者の皆さまにおかれましても、周知・啓発にご理解・ご協力をよろしくお願い致します

令和3年度にむけて【重点施策】認知症の普及啓発と関係機関連携

課題

認知症初期に、医療機関や相談窓口等につながっていないことが多く、市民への正しい知識の普及啓発が必要。また、市民のできる限り自立して生活し、安心して暮らせるよう関係機関との連携強化を図る必要がある。

医療と介護サービスについて理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

①認知症に関する普及・啓発

媒体（認知症に関する動画・DVD・動画解説資料、ケアパス）の周知啓発、図書館等と協働イベント

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携し、支援体制を構築できる

①認知症に関する知識・支援技術の習得・向上

媒体を活用・啓発、関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

②認知症に関する課題の抽出

在宅医療・介護連携電話相談窓口や多職種連携研究会等で関係機関より現状を聞き取り、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

意思決定支援の取り組みについて 終活支援、アドバンス・ケア・プランニ ング普及啓発【重点施策】

(1) 終活に関するリーフレット作成、 周知啓発

「考えてみませんか？生き方逝き方～終活のすすめ～」
目的：終活や自分の最期を考えるきっかけづくり

時期等

備考

10月～

(1) A4三つ折り：6,000部

配布先：枚方市医師会、
歯科医師会、薬剤師会、
保健所、地域包括支援センター、
庁内関係部署窓口



(2) エンディングノート周知啓発 (平成30年度分再版)

「エンディングノート～住み慣れたまちで最期まで～」
目的：自分の望む最期の迎え方を考える、記録に残す
ツールとして利用

10月～

(2) A4版：3,000部

配布先：枚方市医師会、
歯科医師会、
薬剤師会、保健所、
地域包括支援センター、
地域健康福祉室担当課



枚方市医師会委託内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

**意思決定支援の取り組みについて
終活支援、アドバンス・ケア・プランニング普及啓発【重点施策】**

時期等

備考

(3) アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)
周知啓発

「人生会議まるわかりガイド」

目的：人生会議の普及啓発、自分の望む財産管理、介護、医療や最期の迎え方等を考える、記録に残す、周囲と話し合うツールとして利用

令和3年
2月～

(3) A4版：2,000部

配布先：枚方市医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所、地域包括支援センター、地域健康福祉室担当課
(2) (3) について令和3年3月広報ひらかたへ掲載

地域ケア推進実務者の皆さま
におかれましても、
周知・啓発にご理解・ご協力を
よろしく申し上げます

書きやすい
記録用紙
付き！



【重点施策】意思決定支援の取り組み

課題

市民が、自らの望む暮らしや人生の最期等について考えたり、周囲と話し合ったり、医療・介護を選択したりできるような環境や支援体制が整っていない

医療と介護サービスについて理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

① ACPに関する普及・啓発

媒体（終活に関するリーフレット、エンディングノート、人生会議パンフレット）を活用・啓発、市民向け講演会の開催

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携を図り、ACPに関する支援を提供できる

① ACPに関する知識・支援技術の習得・向上

媒体を活用・啓発、関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

② ACPに関する課題の抽出

在宅医療・介護連携電話相談窓口や多職種連携研究会等で関係機関より現状を聞き取り、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

委託以外の事業等について

大阪府医師会・枚方市医師会主催事業

(カ) 医療・介護関係者の研修

認知症研修会：医師向け

第339回学術研修会報告

○認知症専門外来の取り組み～認知症背景病理から考える治療～

講師：脳神経内科はつたクリニック院長 初田 裕幸医師

時期等

令和2年
10月17日
(土)
枚方市医師会館

備考

参加者：37名
内訳：医師、訪問看護師等

枚方市主催事業

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

多職種連携：医療・介護専門職向け

時期等

令和2年3月

備考

地域ケア推進実務者連絡協議会

【参加団体】総合病院東香里病院（認知症疾患医療センター）
枚方ソーシャルワーク研究会、枚方市介護支援専門員連絡協議会
枚方市訪問看護ステーション連絡会、枚方市デイサービス連絡協議会
枚方市特別養護老人ホーム施設長会、枚方市訪問介護事業者会
枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会
枚方市グループホーム連絡協議会
枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会

**新型コロナウイルス感染拡大防止の観点
より書面会議を開催**

委託以外の事業等について

枚方市難病対策分野 難病ネットワーク部会

部会構成団体：（企画運営団体）枚方市医師会・関西医科大学附属病院難病センター・枚方市保健所
（その他構成団体）枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院
枚方市病院協会・枚方市訪問看護ステーション連絡協議会・枚方ソーシャルワーク研究会

- （イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
- （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1.医療ネットワークの構築・多職種連携（医療専門職向け）

時期等

備考

実務者会議

- 令和元年度分（令和2年3月7日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ延期したのとなります）
 - ・研修会報告、災害対応、難病患者就労調査等
- 令和2年度分
 - ・医師会、歯科医師会、訪問看護ステーションにアンケート調査を実施

令和2年8月8日
（関西医科大学附属病院 13階 合同カンファレンス）

令和3年3月
書面開催

部会構成11団体
医師、歯科医師、薬剤師、看護師
ケースワーカー、行政等

（カ）医療・介護関係者の研修

2.医療ネットワークの構築：研修会（医療専門職向け）

時期等

備考

新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑み、令和2年度は実施せず

委託以外の事業等について

医療と介護の連携強化 ネットワーク

構成団体：星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院・枚方市保健所・枚方市病院協会・枚方市医師会・枚方市
構成団体以外：枚方市介護支援専門員連絡協議会・枚方市ソーシャルワーク研究会

- (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1医療と介護の連携強化ネットワーク部会	時期等	備考
部会の立ち上げ準備 ○部会メンバー、開催頻度、ワーキング等について検討後、連携強化・課題解決に向け、取組を行う		
情報連携シート ○病院や施設と介護支援専門員の情報連携 実施主体：ひらねっと※	令和2年度は実施できず	コンソーシアム連携事業「医療と介護の連携強化ネットワーク」として周知、評価予定 協力：枚方市介護支援専門員連絡協議会

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

内容等	時期等	備考
新型コロナウイルス感染対策実施状況アンケート 高齢者通所施設（188施設対象） デイサービス150施設、デイケア30施設、小規模多機能8施設 回答105施設（回収率55.9%）	令和2年11月30日 調査 12月3日結果集計	担当：健康福祉部 長寿・介護保険担当、福祉指導監査課、保健所 ※感染対策に関する40項目の自己チェック及び相談できる医療機関の有無等について調査結果をまとめ、各施設に報告し、更なる対策の徹底を周知した

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

内容	時期等	備考
<p>第7回北河内心疾患多職種勉強会 「新しい連携」の模索～withコロナ時代の苦悩、苦闘、工夫～ ○開会の辞:※1(北口勝司先生)○司会:※2(山本貴士先生) ○レインボープロジェクトに関わって下さる皆様へ:※2(山本貴士先生) ○訪問看護ステーションの運営と新型コロナウイルス第一波の経験:アイ・エスひらかた訪問看護ステーション看護師(南條律子先生) ○枚方公済病院との連携:ちゅうしょクリニック院長(中所英樹先生) ○閉会の辞:枚方公済病院院長(野原隆司先生)</p>	<p>令和2年 11月7日</p>	<p>心疾患ネットワーク会議(大阪府医療計画の一環)として、枚方公済病院を中心にzoomでリモート講演会を開催。参加者(医師、看護師、薬剤師、理学療法士)によるグループディスカッションや意見交換を実施</p> <p>※1:枚方公済病院 総合診療心臓血管救急センター長 ※2:枚方公済病院 循環器内科副部長</p>

(カ) 医療・介護関係者の研修

医療・介護ネットワークの構築：研修会（介護専門職等向け）	時期等	備考
<p>新型コロナウイルス感染症について(感染対策に関する)研修会、意見交換会 ①特別養護老人ホーム施設長会との意見交換 ②特別養護老人ホーム施設長会との意見交換 ③特別養護老人ホーム施設長会対象研修 ④とくふうホーム等従事者(介護職員、保育士、施設長等)研修会 ⑤デイサービス協議会対象研修(資料配付にて) ⑥有料老人ホーム及びサ高住対象研修・意見交換 ⑦有料老人ホーム及びサ高住対象研修・意見交換 ⑧特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホーム・サ高住、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、グループホーム、障害者支援施設対象講演会 ⑨有料老人ホーム及びサ高住対象研修・意見交換</p>	<p>①令和2年 5月20日 ②7月2日 ③10月8日 (会場+オンライン) ④11月19日 ⑤12月18日書面 ⑥令和3年 1月18日オンライン ⑦2月25日オンライン ⑧2月26日オンライン ⑨3月26日オンライン 予定</p>	<p>担当、講師等 ①②市(長寿介護保険担当、保健所、健康福祉部)及び特別養護老人ホーム施設長会 ③講師:健康福祉部(大原賢了)、特別養護老人ホーム 清里苑 施設長(細川和孝氏) 市(長寿介護保険担当、保健所) ④講師:健康福祉部(大原賢了) 保健所、障害福祉担当 ⑤講師:健康福祉部(大原賢了) ⑥⑦⑨講師:健康福祉部(大原賢了) 長寿介護保険担当 ⑧講師:向山病院(多田 正知先生) 健康福祉部、長寿介護保険担当、保健所</p>

(カ) 医療・介護関係者の研修

内容等	時期等	備考
<p>○新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染症対策等の周知啓発 ○新型コロナウイルス感染症対策に関する研修動画の視聴についての周知啓発</p> <p>対象：①入所、入居系介護福祉施設（管理者宛に送付）165施設 ②訪問系介護福祉施設（管理者宛に送付）256施設</p> <p>内容：資料の送付及び報告書の提出依頼</p> <p>①・新型コロナウイルス対策確認表 ・病院におけるゾーニングの事例の資料 ・新型コロナウイルス感染症アウトブレイクでのゾーニングの考え方の資料 ・研修動画視聴についての報告書の提出依頼</p> <p>②・新型コロナウイルス対策確認表 ・研修動画視聴についての報告書の提出依頼</p>	<p>令和2年 12月17日 送付</p>	<p>担当：健康福祉部 長寿・介護保険担当、福祉指導監査課、保健所</p> <p>○各施設において、感染対策に関する38項目及び相談できる医療機関の有無等について自己チェックしながら確認してもらい、更なる対策の徹底が図れるよう支援</p> <p>○ゾーニングの考え方を学ぶことで、感染者が確認された場合の感染対策やクラスター防止策について検討・準備ができるよう支援</p> <p>○研修動画の視聴報告書の提出を求め、視聴の徹底をめざした。</p>